国際交流センター通信23

東京家政学院大学
国際交流センター

Tokyo Kasei Gakuin University International Exchange Center

ごあいさつ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。上級生の皆さんにとっても、フレッシュな気持ちで迎えた新学期のことと思います。

さて、東京家政学院大学には国際交流センターが設置されており、皆さんの国際交流をサポートしています。

グローバル化が進んだ現在では、異文化との遭遇を避けて生きることはできません。興味のあるなしに関わらず社会性の一部として、国際性が求められます。

「国際性を磨く」というと難しいように感じますが、実はそうではありません。お互いの違いを認めつつ、一緒に楽しく過ごせばよいのです。私達は、「違い」よりも「人間としての共通性」の方がはるかに大きいのですから。

国際交流センターでは、異文化を「理解するための知識」と「共に過ごす体験」を得るための活動を提供してます。活動内容は国際交流センター通信や電子掲示板等でお知らせをしますので、ぜひご参加下さい。

国際性が高い人は、コミュニケーション能力が高い人でもあります。皆さんが、学生時代に他者と心地よい関係を築いていける力をつけられるよう心から応援しています。

国際交流センター長　森　朋子（現代家政学科）

夏の国際交流月イベント

協定校コンケン大学（タイ）の先生による授業

＜本学が目指す国際交流＞

1　他者を国籍、民族、性別、年齢などの枠で判断するのではなく、同じ人間として心を開き、相手の人権を尊重することができる。
2　自国文化も他国文化も数ある文化の中のひとつとして客観的に捉えることができる。
3　国際情勢に関わる情報の本質を理解することができる。
4　本学で展開してきた知識体系の蓄積を発信することで国際社会に貢献できる。
5　よりよい社会および世界を構築するために、自分ができることを見いだし、実行していくことができる。

前期のイベント予定

4月1日
国際交流センター通信23発行
☆各種募集（4面）の締め切りは4月25日（火）までです。

4月5日（水）11:30～15:30
国際交流センター名物!
“バザー100円市”開催
町田キャンパス：第2食堂
千代田三番町キャンパス：1階ロビー

☆「えっ!?これ100円でいいの!?」という品が並びます。ぜひお立ち寄り下さい。

4月27日（木）16:20～
町田キャンパス国際交流パーティ
場所：ローズコート

☆日本人学生、留学生、教職員、地域サポーターの方が集まって交流する会です。お気軽にご参加下さい。

5月
千代田三番町キャンパス国際交流パーティ（日程などの詳細は電子掲示板等でお知らせします）

☆日本人学生、留学生、教職員、地域サポーターの方が集まって交流する会です。お気軽にご参加下さい。

6月　夏の国際交流月
☆国際交流会が企画するイベントを開催します。楽しみにお待ち下さい。

（日程などの詳細は電子掲示板等でお知らせします）

7月　短期交換留学生修了セレモニー
☆吉林華橋外国語学院から生活デザイン学科3年に在籍している留学生2名の修了セレモニーを開催します。

（日程などの詳細は電子掲示板等でお知らせします）

第10回外国語スピーチコンテスト＆クリスマスパーティ

2016年12月17日（土）に第10回外国語スピーチコンテストとクリスマスパーティーが町田キャンパスで行われました。

スピーチコンテストの出場者は、外国語暗唱部門3名日本語弁論部門11名、海外留学体験部門1名でした。

また、地域サポーターやホストファミリーの方々14名が参加し、出場者は真剣にスピーチに取り組みながらも、質疑応答の時間には何度も笑いが沸き起こり大いに盛り上がりました。

今年は海外留学体験部門に出場の日本人学生による英語のスピーチに対して英語で質疑応答をするという場面もあり、様々な言語でのディスカッションといった雰囲気でした。

最後に国際交流センター長よりお話があり、時代が変化するとともに求められる国際交流のあり方について考えるきっかけとなったことでしょう。

その後は場所をローズコートに移して、表彰式とクリスマスパーティを開きました。クリスマスパーティでは、飲んだり食べたりおしゃべりをしながら、町田国際交流会が中心になってクイズをしました。中には教員が唸るような難題がありました。日本人、中国人ベトナム人の国際交流会のメンバーが自国の文化や習慣についてクイズにしたものです。中国の伝統的な祝日「元宵節」で食べる元宵餅とはどんなものかわかりますか？

スピーチコンテスト

パーティでのゲーム

大学院短期交換留学生修了セレモニー

2016年2月2日（木）に短期交換留学生修了セレモニーが町田キャンパスにて行われました。この度修了を迎えたのは、吉林華僑外国語学院大学院からの短期留学生、周文婷さん、李赫楠さん、楊薈璇さんです。学生、教職員を併せて19名が参加して3人の門出を祝いました。

修了生からは日本での生活の大変さや当初の不安な気持ちと支えてくれた人々への感謝の気持ちについてスピーチがありました。また、アパートの大家さんからはアパートから見た富士山とアパートの写真の入った写真立てが、本学職員李ホイ―ロンさんからは中国語でのお祝いと労いの言葉が贈られるなど場面もあり参加者一同、心が熱くなったひと時でした。修了生のこれからのご活躍をお祈りします。

乾杯！

町田キャンパス中国人留学生が横山第一小学校を訪問

2017年2月8日（水）に町田キャンパスの中国人留学生5名が、八王子市立横山第一小学校を訪問しました。

6年生の3クラスで、まずは留学生が中国に関するクイズをしましたが、「中国の小学生は家に帰ってお昼ご飯を食べる」など、日本の小学校生活との違いに驚きの声が上がりました。

次に5グループに分かれて、子ども達による日本文化の紹介がありました。折り紙を折って見せてくれる子、クイズ形式で日本のことを紹介してくれる子日本の歴史について調べた内容を読んでくれる子、･･･それぞれが工夫をして一生懸命準備をしてくれていました。

6年生の男の子が言った「ニュースで見る中国は怖いけれど、お姉さん達はすごく優しい」という言葉が交流がうまくいったことを何よりも表してします

小学生に歌をプレゼントしてもらい、大感激の留学生達

千代田三番町キャンパス国際交流会と併設中学校との交流会

2017年2月23日（木）に千代田三番町キャンパスで、国際交流会と併設中学校との初の交流会が開かれました。参加者は中学生9名、大学国際交流会4名教員4名で、プロクラムは中国人留学生による日本の印象、日本と中国の中学・高校生活の紹介を中心に進みました。

当日は国際交流会が3種類の中国茶、中学生が日本のスナック菓子を準備し、全員でお茶とお菓子を食べながら和やかに交流を行いました。

留学生の話で一番興味深かったのは、「中国の中学・高校の一日のスケジュール」のなかに、体操（ジョギング）と目の体操、食事・昼寝があることでした。これらは授業と授業の合い間に組み込まれており、特に〈目の体操〉は写真でも紹介され、留学生から教えてもらい全員で実践しました。中学生の持参した“雛あられ”の紹介では、留学生から「きれい！美味しい！」の声も上りました。

チャイナ・ドレスの試着も行われ、恥ずかしそうに試着する中学生が印象的でした。

中国の学校でやっている目の体操を皆で体験

2016年度外国語絵本展

町田、千代田三番町キャンパスの図書館において、例年通り外国語絵本展が開催されました。

町田キャンパスは9月26日（月）から11月13日（日）KVA祭最終日まで、千代田三番町キャンパスは11月17日（木）から12月22日（火）まで外国語の絵本が展示されました。

展示絵本の言語は、英語、フランス語、ドイツ語、中国語、韓国語です。日本語での内容説明が添えてありましたので、多くの方が手にとってくれました。展示された絵本を見て、子どもの頃のワクワク感を思い出した、という感想も寄せられました。

千代田三番町キャンパスの展示

2016年度英語サロン

During the past year, 2016, many students participated in the English Salon to improve their English fluency. Thank you. Together, we shared a little about each other's culture, while also having a lot of fun free talking. Some of our chat topics included: What We Do When We Catch a Cold, Part-time Work, and Countries We Want to Visit and Why. It was a great exchange of ideas, and opinions, and I am looking forward to the new salon in 2017.

2016年度には多くの学生が会話力向上のために英語サロンに参加してくれました。有り難うございます。「風邪を引いた時には何をするか」「アルバイトについて」「行ってみたい国とその理由」などのテーマで楽しくおしゃべりする中で、お互いの文化を分け合うことができました。すばらしいアイディアと意見の交換でした。2017年度の英語サロンも楽しみにしています。

◇マーク･ルイス先生からのメッセージ

Hi everyone!

Improve your English conversation fluency by attending the International Exchange Center's English Salon. Students from different countries, as well as Japan, meet once a week on Wednesday (Machida Campus) and on Friday (Chiyoda Campus) at the lunch hour to chat about different topics. It's a lot of fun! Listening only is also OK. You can make international friends and learn about other cultures. Hope to see you there!

私の異文化･海外体験　第2回
スリランカで宝石堀り！

中田　範子（児童学科）

この記事を書くにあたり、いつ、どの国に行った時の体験を書こうかとずいぶん悩みましたが、今回はスリランカでの宝石採掘体験を紹介したいと思います。

「スリランカ」はインドの隣にある、まるでしずくのような形をした島の国です。日本の援助を受けている国、紅茶の産地、カレーにアーユルベータといったイメージが大きいのではないかと思われます。また、「ダイヤモンド以外の宝石はすべて採掘できる」と言われるくらい、世界でも有数の宝石産出国です。私は、スリランカには2007年8月に立ち寄りました。

ここでの第一の目的はラトナプラ宝石採掘場で宝石を採掘すること。出発前に日本では知人から知人へまたその知人から別の人を通して、宝石採掘をさせてもらう手配をしました。現地で宝石加工の仕事をしていた日本人の方のお蔭で実現できた体験です。

その日は、車で宝石採掘場近くまで移動して泥の川を歩いて渡り採掘場に到着しました。まず、地元のワーカー10名程度とオーナーの職場を見学した後、 土を堀り石の含んだ土をざるにあけて水で土を洗い流すという工程を見学しました。 そして、いよいよ宝石の選別という時にワーカーと一緒にザルの中の宝石を探しました。多くのザルには売り物にならないかけらのような石(ガーネットやサファイヤ等)がありましたが、びっくりするような大物はなかなかありません。でも、私がガーネットなど赤系の石を欲しがっていると思ったのか、自分のザルの中からそれを見つけた時には分けてくれたワーカーもいました。ここで働くワーカーは8時半から5時ごろまで働いて日給が100ルピー(当時、1ルピー＝約1．1円)！宝石探知機があるわけでもなく、この一連の過程のほとんどを人力で行わなくてはいけません。私たちの目に触れる輝く宝石はこんなにも過酷な労働と多くの人の目と手を通して存在するものなのだと思いました。 そして、この体験を通してスリランカの人たちはみんな純粋で優しいという印象を受けました。 よく「スリランカ人は日本人と気質が似ている」、「スリランカに行くと日本と共通するものを感じる」ということを聞きます。 同じ仏教国でアジア人。そして、島国であるということからなのでしょうか。

第二次世界大戦後のサンフランシスコ講和会議で日本を救った当時のスリランカ蔵相、ワルダナ氏はスリランカからサンフランシスコへ渡る途中に一週間ほど日本に滞在したそうです。 その間、日本の寺をまわりながら庶民の生活を見聞きし、日本の庶民の気質や生活にスリランカ人との共通性を見出したそうです。 そして、「（私たちと同じように）ブッダの言葉の意味を日本人はよく理解してくれる」との期待感から、「日本にもう一度独立国として復興するチャンスを与えたいという気持ちになった」と会議の席上で述べたそうです。そのブッダの言葉とは「憎悪は憎悪によって止むことはなく、慈愛によって止む」です。

私たちは、国際交流の体験を通して自国との違いを見出すとともに共通性も見出すでしょう。ワルダナ氏がかつてわが国に手を差し伸べてくれたのは、わが国にスリランカとの共通性を感じ取り見出したことがきっかけです。

現地で案内をしてくれた方がおっしゃっていた言葉を思い出します。

「初めて訪れた国で出会った人の対応で、その国の印象が変わりますよね」

この言葉を肝に銘じながら本学の国際交流のために力を尽くしたいと心を新たにしました。

採掘した宝石の原石

採掘現場

いろいろ募集中（本学学生対象）

新年度スタート！国際交流を始めるチャンスです！

アメリカの大学生とメール交換

アメリカ合衆国フロリダ州にあるFlorida International Universityで日本語を学ぶ学生とメール交換しませんか。使う言語は「日本語」でも「英語」でも「両方」でも大丈夫。地球の裏側に友達を作りましょう！

申し込み先：学生支援グループ（申込用紙あり）
申し込み期限：4月25日（火）

留学生と日本人学生との出会い

留学生と日本人学生が出会う機会を提供する「日本語会話パートナー」という制度があります。交流の形はふたりで決めて結構ですが、これまでは週に1度一緒に「おしゃべりする」「ご飯を食べる」というところから始めたペアが多かったようです。新しい文化に出会うチャンスをお見逃しなく！

申し込み先：学生支援グループ（申込用紙あり）
申し込み期限：4月25日（火）

英会話を楽しむ

「英語サロン」で、マーク・ルイス先生と英会話を楽しみませんか。自分の都合の良い日だけの参加でOK。レベルも問いません。興味があったら、少し勇気を出して参加してみましょう。リラックスした楽しいサロンです。

◇開催日時・場所
【町田キャンパス】
水曜日12：20～12：50　図書館にて
4月19日、26日／5月10日、17日、24日、31日／6月7日、14日、21日
【千代田三番町キャンパス】
金曜日12：20～12：50　1404にて
4月21日、28日、5月12日、19日、26日／6月2日、9日、16日、23日

海外協定校に留学する

本学学生である皆さんは、協定校である吉林華橋外国語学院（中国・長春市）、釜山女子大学校（韓国・釜山広域市）、韓南大学校（韓国・大田広域市）、コンケン大学（タイ・コンケン市）に短期留学などができます。後期説明会を以下の通り開催しますので、興味のある方はぜひ！

【町田キャンパス】
4月20日（木）12：20～12：50
1204教室にて
【千代田三番町キャンパス】
4月21日（金）12：20～12：50
1807ゼミ室にて

申し込み不要。直接会場へどうぞ。いずれのキャンパスでもお昼ご飯持参OKです。

学生同士で中国語・日本語を学ぶ

中国語や日本語を学びたい学生が、それらを母語とする学生と1対1で勉強する「言語チューター」という制度です。「教える人」「習う人」の両方を募集します。応募資格は以下の通りです。

◇中国語
＜習う人＞ 本学学生であればどなたでも
＜教える人＞中国語母語話者の本学学生
◇日本語
＜習う人＞ 本学学部1・2年生の留学生
＜教える人＞日本語母語話者の本学学生

申し込み先：学生支援グループ（申込用紙あり）
申し込み期限：4月25日（火）

国際交流会で活動する＆iecpalになる

◇国際交流会とは
会員同士の交流を図るとともに、国際交流のイベント等を企画・運営する学生の会です。新しい楽しみと仲間を増やしましょう！

申し込み先：学生支援グループ（申し込み用紙あり）
申し込み期間：随時受付

◇iecpal（アイイーシーパル）とは
登録しておけば、国際交流のイベント、ニュースなどがメールで送られてくるシステムです。

申し込み先：iec@kasei-gakuin.ac.jp
申し込み方法：件名を「iecpal」とし、本文に氏名と学籍番号を記して下さい。メールは大学gmailに送ります。

International Exchange Center
発行・編集
東京家政学院大学　国際交流センター
〒194-0292 東京都町田市相原町2600 TEL 042-782-6908
センター通信 第23号　2017年4月1日